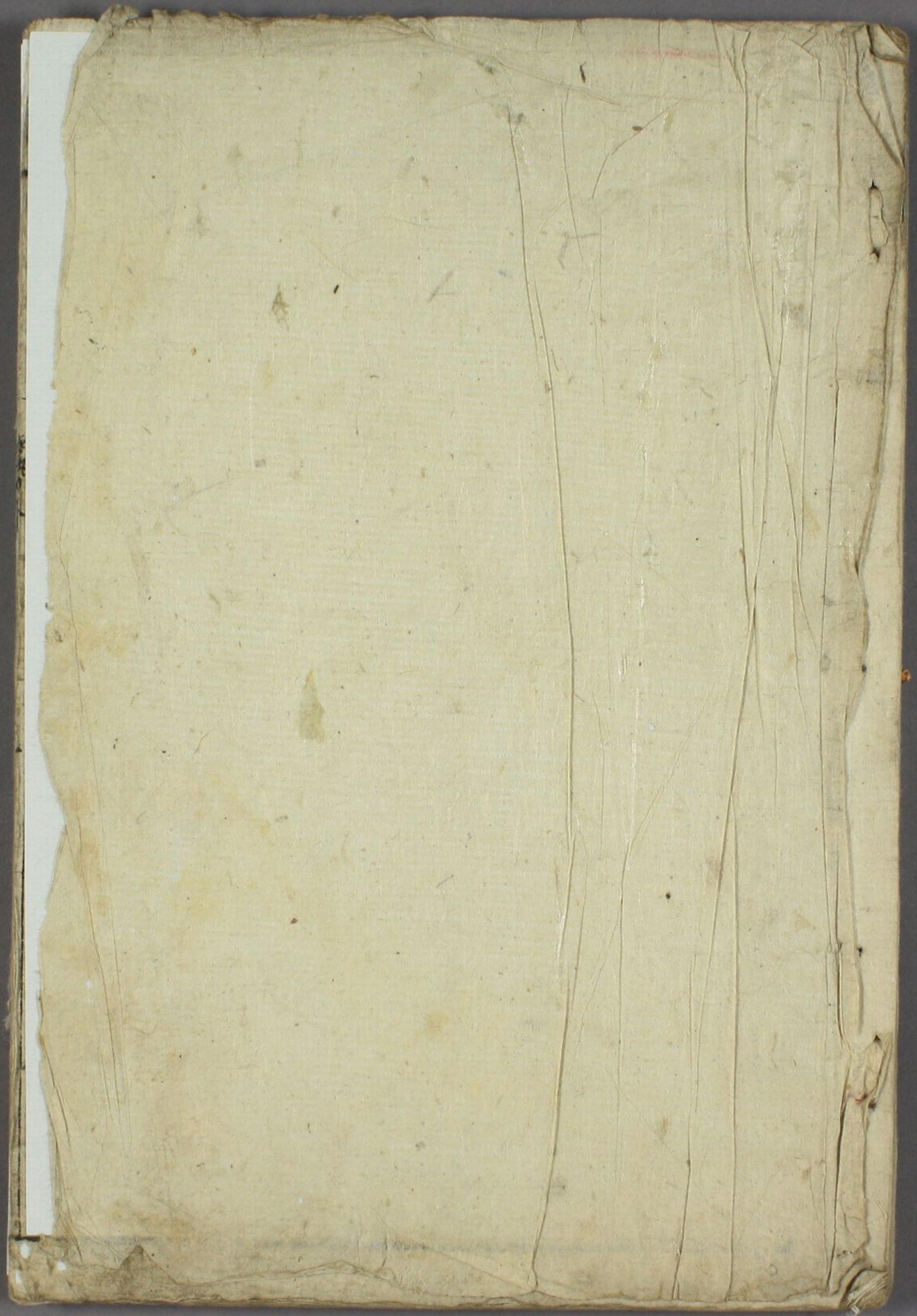


6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9





元四

十五

秦平ナリモウト

し。まうりうとおと。もうへげなりくれど。心をもひて
うるまみと称むびよあらあまよ。の弦がんと角もゆふ
とぞいにえくりや

ねまはきとめにひかへ。とのそぞうなく物とらひゆふ

し。思ひ。うなり。うなづき。うなづき。うなづき。
もひすと。うなづき。うなづき。うなづき。うなづき。

とづくらふぞ

朝あはれのうつて。かほく。かほく。かほく。

又れと

吹風よ。うきよ。うきよ。うきよ。うきよ。

又女也

古事記
者
ひゆよ。ねくよりあらわる。あらわる。あらわる。



又れとこ

めあとおろよひとちうまとびきまともよとまえ
わざくさがにてく。男女力。思ひありほく。とまじ
る。あとこべのあ裁よ。萬うへけり。

うじう色。被すれ時やさうらん。見そちら。あ称まく
肩。男。おけり。の許より。がぎなり。稱とせたり。くせゆ
あやめうり。ゑぬよ。みぞまど。ひく。おひせよ。あくわく。
とそ。よ。と。かん。肩。うら

肩。男。おひく。女。よ。あひく。お便な。ご。く。袖よ。おれ。あれば
そぞく。も。う。腰。を。今。れ。ど。お。ふ。く。う。ハ。ま。ざ。い。あ。わ。れ。ア
し。く。男。ほ。き。す。う。り。け。り。女。よ。づ。ひ。や。と。く。つ
ぢ。や。あ。ね。多。説。た。どう。と。ふ。天。に。宮。が。う。あ。と。寝



乃宮のめとす。わとす。あじよ。うす。ひどり
せよ。ばくじよのほと。ひきがけりて。おへり
タクよ。さくわ。まくわ。ちえ。とくとく
とく月。まつ。え。まくわ。の。は。者。の。人。は。種。の。も。ぞ。ち
古事記作著

と。ひ。く。う。と。く。か。ひ。も。く。あ。そ。ふ。す。り。て。ふ。ま。く。と。く。く。
背。が。と。こ。ぼ。く。ま。く。く。じ。く。ま。く。と。く。く。の。ひ。と。
ひ。く。く。と。く。く。の。と。く。く。の。と。く。く。の。と。く。く。の。と。く。く。の。と。く。く。
舊そ。あ。ひ。と。く。く。人。の。う。と。く。く。よ。な。う。と。く。く。の。な。う。と。

女々母

母母は。お。り。わ。り。と。む。か。た。れ。を。波。り。お。き。ま。ま。か。と
背。年。う。と。と。む。に。が。り。く。せ。ん。う。と。と。や。わ。う。び。り。く。る。も
な。れ。人。の。う。と。と。う。ま。く。の。國。な。り。く。る。人。よ。う。り。と。り

タ。レ。人の。あ。よ。り。く。と。と。物。く。せ。な。と。く。り。よ。う。り。の。お
ま。く。る。人。あ。と。わ。じ。と。ひ。く。と。こ。せ。と。く。け。ま。男。女。と。べ
と。の。の。あ。ひ。く。う。様。見。こ。り。か。く。と。す。り。よ。く。う。
と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。
も。き。ぬ。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。
と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。
と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。
タ。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。と。く。く。

背。せ。心。た。ま。く。せ。ひ。と。と。な。く。け。わ。ん。ま。あ。ひ。え。と
ぐ。れ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
め。ぐ。り。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。

ゆきふくてもうりとばかりの風ふきばるぬれとひ人
をもりよそぞ思ふぬまとちぢめをぬかすまきま
肩。寒。が。心。そ。う。ふ。ん。う。ま。ま。せ。う。う。う。
すりぬあやへぬのやう



舊思ふよ。あがづるゆきますけよ。あはし。はまくわらを
 とひひく。ばじよ。おりぬき。ざれいの。おひやがじよ。人の
 うちかく。おうで。おわり。あんれ。ばじよ。おひよびく。ざく
 ゆく。れど。ほり。よし。すき。おひよ。おひよ。ひよ。ば
 く。今す。笑ひうり。ほそむて。とめ。おひよ。おひよ
 うり。とり。おこ。おさ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ
 ほく。おり。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ
 おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ
 と。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ
 おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ
 おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ
 おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ。おひよ

ひふ。ちゆく。まくら。まくら。まくら。

卷之三

وَمَنْ يُعَذِّبُ
وَمَنْ يُغْفِلُ
وَمَنْ يُحْكِمُ
وَمَنْ يُنْهِيُ

は。見ゆるがわく。ありは。ほて。佐。酒。も。智。也。
まそ。御。お。ふ。と。た。と。く。ト。お。ま。う。
う。お。く。う。が。お。も。よ。く。き。を。は。き。
が。お。も。よ。く。き。を。は。き。
び。男。に。か。い。く。れ。と。と。う。ん。き。
絆。み。と。ど。や。う。や。は。そ。び。男。と。び。ほ。う。れ。
も。び。女。乃。と。こ。あ。え。と。ふ。せ。と。ば。す。と。ぞ。さ。せ。き。と。ち。
め。め。そ。お。か。り。あ。う。れ。ど。く。よ。う。り。き。と。ち。
古今典詩集子
あ。お。お。う。も。お。住。ま。の。お。う。と。称。と。と。と。お。世。と。が。
と。お。れ。お。う。じ。男。か。の。圓。す。り。お。よ。う。と。筆。

あれとあられがりて。へへへへりよろり

翁。男。きうきじよかくどりひは。孫。びびわま。

わらだごうに。ひめのう。うちお國。しまの山とみれば。を

きみよし。まゆるか。ゆきだ。あくよみの里と。食。それ

案。あるじに。まのまよ。よつたりたう。それと。かくの

ゆく人のゆに。まごひとりよろりよろり

さよひよきの。立まひくろよき。老の林とじと。娘。う
翁。男。びみの。ひづれ。住す。此のやう。住者。の室。住よ
の。やゑと。むよと。あくよみの。食。れりぬは。ゆくわくを

く。よ。り。も。ゑ。と。よ。く。と。よ。

ね。寝。そ。翁。の。老。の。林。と。娘。と。よ。住。す。お。娘

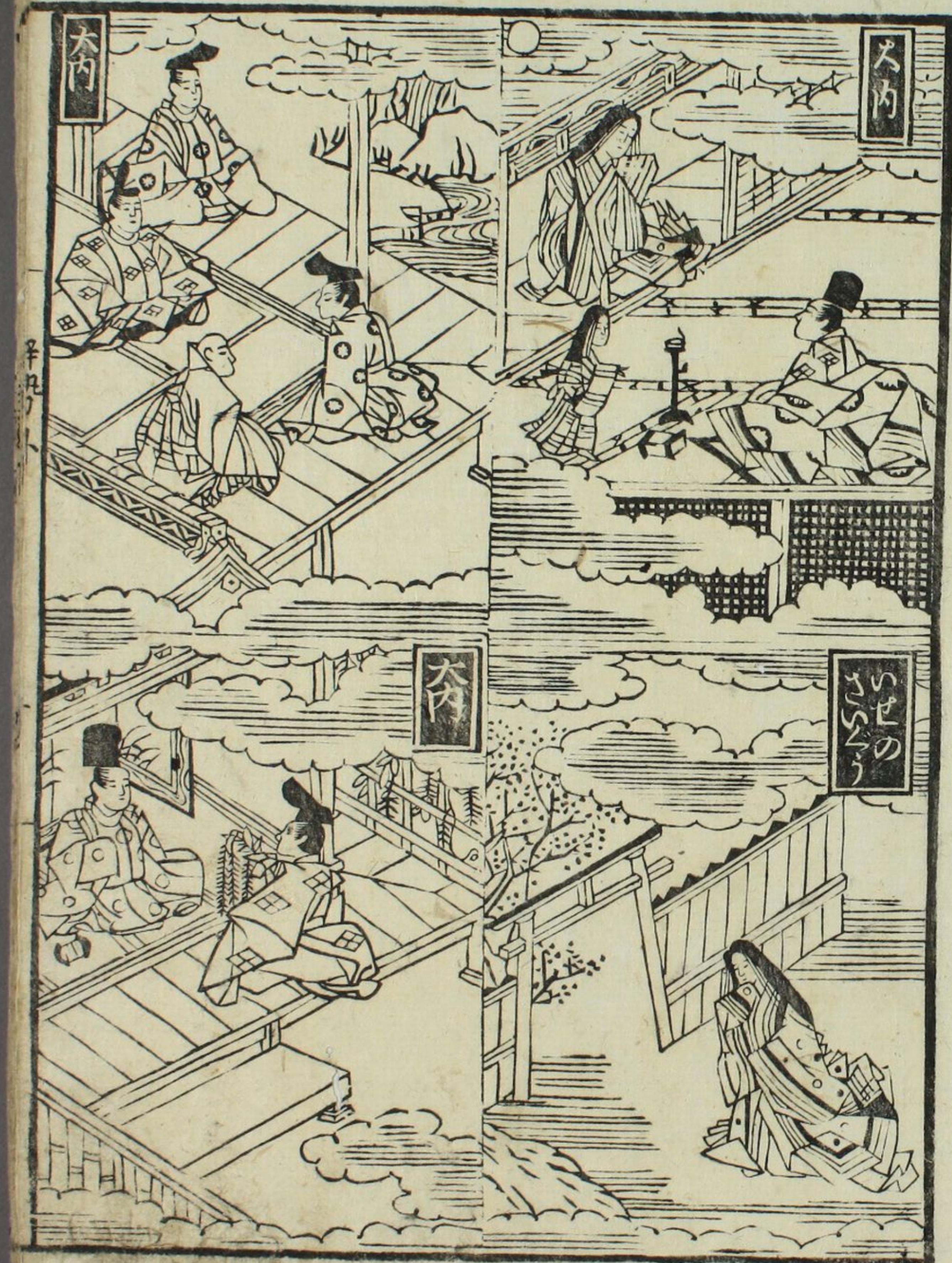
こ。よ。か。う。な。れ。ど。み。か。く。い。あ。じ。な。り。よ。ろ。り

翁。男。ふくらり。その男。伊勢社國よがまの役。よがまの
よ。が。の。役。勢。社。翁。よがまの。役。の。お。や。ほ。の。役。よ。り。び。
よ。く。ひ。れ。と。よ。ひ。か。り。え。が。親。の。よ。な。り。け。び。と。廢
び。う。よ。び。ひ。り。あ。い。あ。た。よ。が。り。に。ひ。じ。と。と。よ。く。宿。ん。は。よ。づ。つ。き
里。が。り。て。と。じ。み。く。せ。く。り。か。く。宿。ん。は。よ。づ。つ。き
り。二。日。と。つ。あ。男。よ。く。わ。ん。と。し。よ。か。て。と。よ。く。わ。ん
と。よ。か。て。と。よ。く。わ。ん。と。よ。か。て。と。よ。く。わ。ん。と。よ。か
わ。ん。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か
と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か
よ。月。乃。も。わ。ん。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か
た。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か。て。と。よ。か

翁。男。きうきじよかくどりひは。孫。びびわま。

はすり。じまうまとおに。まくはりも。くぬよ。う
ようり。男。とあれとて。わざがよから。ととめ。づぎ。え
ど。まづぐと。あづきほ。おみね。びとひかと。まくはり。
ひあをとれき。まゆ。あつ。せき。まくはり。けい。まくはり。
今。あらと。あらじき。まゆ。まゆ。まゆ。まゆ。

男。と。いふ。なれど。まづ。あ
事。が。起。つ。と。が。の。ゆ。に。ま。す。ひ。ま。う。と。今。來。わ。ざ。
と。よ。そ。で。ゆ。き。く。り。に。出。る。野。よ。あ。う。け。と。が。い。そ。そ。
が。よ。ひ。ざ。る。へ。き。あ。そ。ひ。き。か。が。う。の。は。さ。う。と。や。う。く。お。む。と。よ。び。け。
ひ。き。れ。が。が。く。る。あ。ひ。く。と。と。と。え。を。き。ぐ。お。ひ。ば。あ。り。れ。あ。
ま。も。う。き。と。ま。れ。ど。男。か。か。今。ま。ぎ。だ。洞。と。ま。を。ど。え。



よのえよ。もとひとひきう。せ。まにじとふて
捨ま人也
 すりやあ。神のひだらもあくぬ。よま人のみよくわ。さう
木
 おもくよくともみよぢらわあ。神のひだらひだらが。あくよ
木
 う。あくよ。伴勢れ圓なりけり。せ。まひえわらそ。とれりん
木
 う。くとそ。まう。まう。まう。まう。まう。
新古
 大庭のねはげくもひくすくよ。服ておもくへくはば
万葉
 す。そこよな。おうとひのど。せううこと。ごふづくくと
 あくね。まひ。おうとひのう
万葉
 も。よひかくとひよひわね月のうち。桂のひとたまよ。ひ
 も。し。男。女。まくとひよひくとひよひくと
万葉
 まよひよひよひよひよひよひよひよひよひよひよ
 う。男。伴勢れ圓なりけり。せ。まひえわらそ。とれりん

大庭の。済よむ。かくよん。ひぬ。と。とつゆ。か。て。ひき。す。うり。と。写

往々とて。わがれりやくもあらゆ。うそとて。
まことあるより。まちまちゆきかとひよ。ひよひよ
す事。清きよどがきく。あらゆ世の。じのうをむかへ種
せう。あらゆ世の。じのうをむかへん

第一。二条の筋は。まことに。まことに。と。り。つ。め。民
衆。よ。まう。で。お。じ。る。い。が。の。あ。だ。き。く。ふ。ま。す。ひ。づ。る。義。人。の
ろ。く。び。り。う。ほ。い。て。よ。御。車。よ。り。移。て。よ。う。ご。で。を。き。け。り。
今。か。東。や。小。嶋。内。山。も。く。ま。と。御。代。の。こ。と。も。か。ひ。づ。れ
と。が。ま。う。れ。ー。と。や。お。ひ。づ。れ。と。お。ひ。づ。れ。と。お。ひ。づ。れ。
第。四。五。六。七。八。九。十。九。十。九。十。九。十。九。十。九。十。九。十。九。十。九。十。九。

安祥ち又奈后須子建立ち。山城国山科一有
主。安祥ち。ヒクノウ。右

卷之三

主君。安治も。比。右。大。也。第。不。可。乃。と。よ。す。
そ。う。り。け。主。も。み。ま。ざ。よ。ま。う。て。き。の。く。り。て。さ。よ。山。主。あ。乃。
せ。じ。の。刃。こ。お。り。さ。し。そ。の。山。种。の。ま。よ。游。戻。と。あ。じ。ら。せ
な。ビ。じ。て。わ。り。そ。く。作。り。き。つ。る。ふ。す。う。と。あ。じ。く。年。は。よ。そ
よ。う。う。ま。き。ど。ち。く。い。づ。ま。ご。ほ。く。う。き。つ。び。づ。ま。い。ま
み。き。よ。ん。と。下。手。ふ。か。こ。よ。う。び。き。よ。く。と。れ。む。じ。の。
人康親王仁明中昌品彈正尹号山科官貞親元年五月入道月十日薨
も。せ。ま。る。勢。流。ま。う。に。づ。の。大。ね。も。く。た。ぞ。う。り。流。ふ。や。う。ま。う。く
の。も。ド。先。に。う。さ。を。派。や。ひ。ま。ぐ。き。ニ。象。れ。も。難。ち。あ。ま。く。内
紀。の。圓。乃。す。裏。乃。涼。よ。あ。り。け。う。す。と。あ。り。う。る。き。石。を。あ。り。き。
三月廿日行幸右大臣良相百花亭
れ。か。こ。あ。ら。ぬ。枝。を。見。り。り。く。が。あ。う。ん。の。こ。ら。じ。の。あ。れ。か。
そ。よ。も。て。り。と。鴻。の。こ。時。ふ。ま。が。り。ば。石。と。を。見。れ。と。れ
き。ひ。く。こ。も。い。ん。と。の。お。き。え。み。と。り。じ。く。う。く。だ。く。も

な。かくとてはねじる。かくはまへきつ。かくはまへきつ。
さよ。もぐらの成じ。もぐらの成じ。もぐらの成じ。
さればうろんのとすん。わ風ひ。お風ひ。お風ひ。
絶乃。ひよのとすん。あくまく。あくまく。あくまく。
わよた。あどり。あどり。あどり。あどり。あどり。
とすん。よみ。よみ。よみ。よみ。よみ。よみ。

こよりよ。の日。ぬき。よ。の。行。お。と。ま。

源融。嵯峨家第十三代。左大臣。仁和三年。從一位。寛平九年。蟄車七年八月薨。七十。

卷之三

秋月のほどかうりづく。萬のれんかひさります。

紅葉山房詩稿

ては。ゆのむわくじゆくはくのくわく
ほんばいのあ

此。故。不。可。謂。也。其。如。彼。之。如。是。也。故。不。可。謂。也。

かくもあらわそ。今まゆきをも。傳

道がよき事に心をこめておる。さうして

وَمِنْهُمْ مَنْ يَرْجُوا
أَنْ يُؤْتَوْهُ مِنْ
آتَاهُمْ رَبُّهُمْ
أَوْ أَنْ يُؤْتَوْهُ
أَوْ أَنْ يُؤْتَوْهُ
أَوْ أَنْ يُؤْتَوْهُ
أَوْ أَنْ يُؤْتَوْهُ

لِكَفْلَةِ الْمُنْتَهَى

うとひるふすりうちもがんよの氣よ

家とめくはよつてのりうんとよめまわる
惟高文定少三母從五位上紀靜子名虎姫品号小野宮

おのづかのあらわし

のまへん。あはれ。おまへん。おまへん。

ト。アラタニ。アラタニ。アラタニ。

。さうの名は金より。がくの御比古也。西の

蒙古文



故べよそ。ひとと様へりてたれ。にせふなみひじろべき
 とそ。そのまわりとくわらうとくわよ。日くはよなりねば。体をう
 人ぬとりこせん。壁よりうござく。びぬとのとんこそ。
 まふと。かみめふ。あくればとくふよ。じうぬ。そこよ。じうぬ
 あくまくまく。みみあひうが。が野をうそ。あやの川の。き
 みづうと。おゆで。あくまく。益々せとの。まひうが。のじく
 のう。よかうぐ。よそよそうりうりう
 積くじ。セタづめふ。わざからん。あくねがうらに。あくまく
 见て。あくね。せとば。むかで。ほ。え。あくね。ものあつて。おとまう
 げ。うまうまう。それが。み
 一とせふ。あくまく。あくまく。さぞう
 ぬまく。え。金持ひぬ。あくまく。あくまく。の。おとまう
 て。あくまく。金持ひぬ。あくまく。あくまく。の。おとまう

見こよひく。すすんまへ。十一日お月も。えりと。むかひ。あむ
ま。あらまくふ。まも。ごとくも月の。くわく。がの。よびと。へども。あらえ
見こうり。がくつり。とくまくまく。て。紀乃。あらは。
校上野峯雄
撰

10

小野あまうどたつにひえの山乃ふかとよれをもとほり。あく
ともむづつよ。まくと。あくとあくに。まくとわじもくとあく
まくとあくと。やくと。まくと。まくとひて。よこのまくと。まくとあく
まくと。まくと。まくとひて。がれと風と。おきやけひゆ。まくと
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。
古今
とそ。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。

四十一

かのとよみくらむちならして。まろ。住良内親王真記三年九月薨

せゆにばくぬ別のなくせだらよれとれる人のもられた先

る事。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。
てぐり。ひ門のびまう。じまう。でぐり。おとたう。おとたう。
おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。

おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。

おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。
おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。

おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。
おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。
おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。
おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。

おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。
おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。
おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。おとたう。

五十八

五十八

七四

夕ゆに。水瀧。物より。水瀧。水瀧。水瀧。水瀧。水瀧。水瀧。
石。乃。お。か。く。山。の。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
さ。う。瀧。乃。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
そ。の。石。お。か。く。山。の。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
あ。が。き。ま。い。と。さ。う。な。は。瀧。の。あ。よ。み。も。う。の。ま。う。き。
誓
我。也。と。さ。う。な。は。瀧。の。あ。よ。み。も。う。の。ま。う。き。
あ。よ。だ。と。さ。う。な。は。瀧。の。あ。よ。み。も。う。の。ま。う。き。

ね。見。私。あ。い。と。あ。い。し。の。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。
と。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。
と。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。
と。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。
と。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。
と。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。
と。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。
と。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。あ。い。と。

朝
晴。み。朝。か。墨。う。河。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
と。ぼ。て。か。よ。海。の。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
か。い。の。瀧。の。や。れ。を。い。あ。い。と。瀧。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
あ。い。と。瀧。の。や。れ。を。い。あ。い。と。瀧。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
つ。い。と。瀧。の。や。れ。を。い。あ。い。と。瀧。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
と。
と。
暮
あ。い。と。瀧。の。や。れ。を。い。あ。い。と。瀧。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
あ。い。と。瀧。の。や。れ。を。い。あ。い。と。瀧。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。水。瀧。
个。き。と。我。也。と。さ。う。な。は。瀧。の。あ。よ。み。も。う。の。ま。う。き。



著。ほきなれ。へど。うそひまく。かねども。うんざ
ら。がくしゆ。じふく。かとく。まくら。と。がく。まくら
たり。まうり。くね。わ。う。う。う。け。う。様。よ。て。く
様。え。う。ま。う。か。く。も。う。く。あ。う。た。み。が。う。か。く。ゆ。く。
と。ぐ。い。ぐ。へ。も。あ。う。ぐ。

十九
等。月日。ゆき。まづ。か。び。雪。二月。勝日。が。よ。
拔撰
お。め。さ。と。ま。わ。か。く。ら。の。く。み。の。日。お。タ。ま。し。く。今。

مُؤْمِنٌ

わふあしゆひはとく。なまくもくもくとくにあしやう
ひ。まかがくのくわく。くわくのくわくのくわくのくわく

四十九
首。ま。み。ひ。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
馬。あ。れ。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
う。じ。く。ね。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
き。う。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
み。馬。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
て。わ。と。じ。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
船。わ。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。

う。じ。く。ね。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。

首。二。象。の。店。み。底。か。う。ま。く。と。馬。ま。く。り。せ。代。づ。く。う。ま。く。
詠。よ。か。う。ま。く。と。馬。ま。く。り。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
て。お。も。か。れ。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
せ。が。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
せ。が。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。

首。馬。あ。け。り。せ。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
詠。じ。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
あ。月。か。う。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
よ。あ。り。せ。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
ひ。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
ほ。う。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。

その人の。并ひうんとぞすりとく。をぞちつとぞみとふうり。ゆり
くれど。びせり。もうと。ふとくしよまく。きうち。されど
ひむくえぐの。れひるふと。もうちりせと。すと。せと。強
めりけく。ひあわ。なくふ。おや。階あくえよ。と。強
と。うれ。と。きて。が。こよ。ア。と。も。を。ば。されと。や。きと。そ。う。ざ
て。底。く。ね。ふ。う。ま。ビ。ら。び。く。も。や。あ。ん。り。と
や。あ。ん。づ。あ。と。も。も。か。の。黒。へ。あ。と。ね。さ。と。そ。う。も。と
ぎ。ん。の。う。ひ。ひ。く。す。れ。も。じ。げ。く。れ。り。と。の。れ。う。ひ。ひ。く。ひ。く。
れ。よ。や。わ。ん。へ。お。り。ぬ。ね。わ。よ。や。け。ん。今。と。と。か。こ。め。う。そ。う。も。と
る。が。り。門。の。あ。い。ゆ。ま。う。ら。り。と。と。じ。づ。づ。と。う。り。り。り。と。十
の。か。く。れ。れ。う。れ。と。そ。う。き。う。れ。中。ね。す。り。う。れ。あ。ま。れ
古。今。大。將。サ。七。

八十九
忠仁公天安元年二月十九日大政大臣五十
五歲月九日從一位三年清樞政清輔外祖
大政大臣
背。あやまつてあらはりまつてあらはりまつて
写。長月。うりに補乃作り枝よ。まづまづもそ。をもうとく
卓。本のひえがふれられひ附。一もまくぬりのみぞまくぬり
と。よもそ。でもありたるくれど。ひとともくあじぐら跡ひて便了

馬をまわす。まわる野はとくらむかへり。山のまわりはもだのほ
る。たま鷹狩。まわりこう。をふれども早とづありこう。そひ
の扇よ。よしむひゐと。よひく。へよあくろ。方や中舟。ふ
らうの。まきじらうと。いふな。まじらうと。まきじらうと。
義宗良道貞教士年正月布中身十六時未申キ
日ひ。あじ。まうけ。まうけ。あうん。まそ。あよ。れと
まき。まき。あゆ。あゆ。まく。まく。あゆ。あゆ。まく。まく。
まく。まく。あゆ。あゆ。まく。まく。あゆ。あゆ。まく。まく。
まく。まく。あゆ。あゆ。まく。まく。あゆ。あゆ。まく。まく。
まく。まく。あゆ。あゆ。まく。まく。あゆ。あゆ。まく。まく。

と。も。そ。の。か。わ。と。世。内。に。と。ま。る。
と。す。ぎ。ひ。が。ま。く。ふ。か。ま。る。わ。ま。り。
あ。ま。が。ま。く。う。し。と。ま。く。か。ま。る。ま。ち。ま。く。お。い。ま。く。か。ま。る。



まつや。いとくら。使ひうりん。おひのうち。
古今
林のうち。かくはん。かくはん。かくはん。
とくさん。とくさん。とくさん。
背もたれ。もたれ。もたれ。もたれ。もたれ。
はくはく。はくはく。はくはく。はくはく。はくはく。
うつむか。うつむか。うつむか。うつむか。
せよ。せよ。せよ。せよ。せよ。
ゆめ。ゆめ。ゆめ。ゆめ。ゆめ。
うめ。うめ。うめ。うめ。うめ。
背もたれ。もたれ。もたれ。もたれ。もたれ。
自あら。あら。あら。あら。あら。
とくさん。とくさん。とくさん。とくさん。とくさん。

六百
有。男。女。之。也。
貞。固。親。王。

真國觀

任學
下

九

育。男。か。た。ち。乃。き。く。え。を。持。ふ。に。ま。う。と。立。田。川。の。
古。今。ち。り。わ。ふ。る。水。休。休。也。や。ひ。ど。立。田。川。が。く。れ。あ。ぬ。い。み。り。や。く。お。と。へ。
育。ひ。く。き。あ。男。も。う。り。と。の。男。れ。り。と。ゆ。ひ。り。今。を。内。記。ふ。る。
久。る。着。あ。の。と。の。ゆ。ひ。り。と。づ。よ。人。よ。び。ひ。り。と。ま。ざ。ま。け。
き。も。よ。だ。と。く。う。び。羽。あ。つ。ひ。も。く。も。ん。や。ま。よ。
さ。び。り。う。れ。が。の。け。り。す。う。人。あ。ん。と。き。く。う。き。そ。重。り。り。
が。く。ま。く。ひ。よ。う。り。と。く。男。か。と。あ。れ。
は。き。く。ひ。が。ま。え。お。う。ら。用。川。往。の。と。も。も。と。あ。は。と。ま。

おもむろと。程ひそめ。波ノ瀬川。あまくす。あまん
と。うきよれど。男。うきよれど。今。また。また。ふだくよ
今。あらと。うきよれど。男。又。また。うきよれど。波乃瀬川。

主なり。おれはねまくはんかうづひゆうもひあ
らひのあへあじとひまえとまきの男せにありて僕を
かどくす。ひよひよびとひよびとれぬへあうぞまきに
とよそやまうるえどりもゆきも。もうわいど
ねれく。さひよふう

すんぞとおひつてのくじを写

思ひおひつてのくじを写りしと
思ひおひつてのくじを写りしと
やうのふりを

ほくおひつてのくじを写りしと
やうのふりを
本不可有之多本皆裁之不可止
本不可有之多本皆裁之不可止

ひ。写。筆。の。よ。か。

なぐらぬ。金。紙。の。よ。か。
萬に和。心。と。せ。う。よ。か。幸。喜。の。よ。か。

おびゆる。おとよむ。おとよむ。おとよむ。おとよむ。
かひき。おとよむ。おとよむ。おとよむ。おとよむ。
おとよむ。おとよむ。おとよむ。おとよむ。おとよむ。
おとよむ。おとよむ。おとよむ。おとよむ。おとよむ。

七百

等。御門。門を出でて。に行きて。一歩ひづり。
おやんぐ。ひづり。とくへ

古今安作者
穀

穀。おもむか。おもむか。ほほほの。おもむか。おもむか。

おもむか。おもむか。おもむか。おもむか。おもむか。

四百

三百

二百

一百

九百

八百

七百

考。男。まづひそむちもあべくわざりとされど
事。ためみれ。ととひてほじどそのふきとひはざりを

下巻終

近代以降使ひ反る様にが出来未代人今棄之文不の用
は物語古今說々不同或云至中ねく自書或隸併勢
筆作範伎は有書落更もよ古と人強不て爲其化
去只可統詞花玄素而已

戸部尚書在判

右書半牛者爲玄家鄉自筆 極裏御筆に附有
縁申出而前焼が不遠一字一珍令透写遂并校施
椎松曾莫之誤代雅遼也于時長隸官二脣仲
陽初三佐紀

萬治二年仲夏吉辰

松會閣板

玄家鄉

